

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 鬼頭茂成 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル6F
幹事 岡村隆徳 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org



奉仕を通じて
平和を

田中作次
2012-13年度
国際ロータリー会長

第1407回例会

識字率向上月間

平成25年3月14日(木)
於 名古屋東急ホテル
出席計算数 会員 64名
58名中46名出席
出席率 79・31%
前々回出席率 78・18%

例会プログラム

- 東日本大震災犠牲者追悼(黙祷)
- 津島RC加藤泰一郎さん挨拶
- 米山記念奨学会感謝状授与
- 岩崎米山記念奨学生カウンセラー
- 米山奨学期間終了者の集い
- 米山記念奨学生挨拶
- 田崎クラブ奉仕委員長
- ・5月9日(木)例会変更 東日本大震災チャリティコンサート
- 川口会員組織委員長
- ・友達を呼ぼう例会案内
- 卓話

「ロータリーソング」

「奉仕の理想」

指揮者 渡辺 観永
ピアノ伴奏 富板 玲子

ゲスト

地区識字率向上委員長

津島RC 鈴木 吉男さん
米山記念奨学生 周 珉
小笠原さんゲスト 津島RC 加藤泰一郎さん

ピシター

東海RC 小嶋 洋一さん

ニコボックス

堀江さんには識字率向上委員会でお世話になっております。本日は卓話をさせて頂きます。

津島RC 鈴木 吉男さん
今日はお世話になります。

鈴木吉男さん本日卓話よろしくお願ひします。鬼頭 茂成
鈴木吉男さん本日卓話ありがとうございます。今日はお世話になっております。楽しみをしています。

堀江 英弥

鈴木吉男委員長、卓話を楽しみにしています。神田 憲

鈴木さんようこそ。木村 光徳

小笠原さんお手やわらかに!! V V 短い間でしたが楽しかったですね。岩崎 征一

先日はクラブ奉仕委員会で歓迎会を開催して頂きありがとうございました。杉本 忠夫

ました。ヒルウォーキング、尾上さん、前田さん、お世話になりました。岩崎さん、いつもありがとございます。春日井和良

お久しぶりです。杉本 英夫

ひさしぶりです。川畑 博敬

結婚記念月です。尾上 昇

奥様の誕生日です。草野 勝彦

カミさんの誕生日です。内藤 明

47年目の結婚記念日です。大原 俊博
小笠原和俊

会長挨拶

会長 鬼頭 茂成

みなさんこんにちは。最初に2年前の東日本大震災で亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたします。また、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

今月はロータリーの識字率向上月間です。今日は2760地区の識字率向上委員会の鈴木吉男委員長から卓話を頂きます。よろしくお願ひします。

さて、今年度ホストをしています。米山奨学生の周珉さんが、この春卒業され東京に就職されます。当クラブのホストも今月で終わりますが、これからも機会あるごとに交流を重ねていきたいと思ひます。またカウンセラーの岩崎さんには大変ご苦労をおかけしました。しっかりとサポートをしていただいたようでロータリークラブがテーマの卒論も大変良くできています。ありがとうございました。さいます。この後ご挨拶があります。よろしくお願ひします。

卓話

「識字率向上月間に寄せて」
国際カールズ・デーとCIEE

地区識字率向上委員長
津島RC 鈴木 吉男さん



国連は、昨年10月11日を「国際カールズ・デー」と制定した。「国際カールズ・デー」は、世界中のより多くの方が、女の子の状況に関心をもち、女の子の人権を尊重するようになることを目的として制定された、いわば「世界中の女の子の未来を切り開くための日」である。

世界で読み書きができない人の3分の2は女性。女というだけで教育を受けさせてもらえなかったりするためだが、女子児童が1年学校に通えば将来の家計にプラス25%の余剰収入をもたらす、それが2年になると50%に増える」と指摘されている。

貧困は女性に集中しているなかで、アフリカでは女子教育で農業の収穫高がアップしたり、HIV感染率が抑えられたりしたケースが確認されている。生産性向上等にもつながるため、女性が教育を受け、自立することが貧困解消につながることは裏付けられている。国連では、1960年代から国

際社会で非識字について問題視している。2001年12月に「国際識字の10年すべての人に教育を」をスローガンに、2003年から2012年までに貧困の撲滅と男女の平等の実現のために行動を起こしてきた。

国連の識字の問題についての取り組みに合わせ、国際ロータリーも識字を最重要項目として取り組むようになり、識字能力の向上を図る目的で、97〜98年度RIの強調事項に指定された。さらに1997年7月の会合で、理事会は毎年7月を識字率向上月間と定めた。地域の識字水準が、その地域の生活水準に直結するという観点から、この月間中に読み書き、計算のできない人たちを援助するために、ロータリー地域社会并同体ロータリーアクト・クラブ、インターアクト・クラブ、世界社会奉仕ロータリーボランティア、その他の既存のプログラムを通して、識字率向上に取り組みでいく。識字率向上月間は、06〜07年度より3月に変更された。

国際ロータリーは非識字を一層効率よく解決する方法がないかとCLEという学習方法を考えた。CLE (Concentrated Language Encounter = 語力集中研修講座) は最初、タイの学校向けに開発された教授方法で、読み書きを中心とした識字教育を

目的としている。現地で教育プログラムの内容が決められるので、自分たちの文化遺産に対する理解を深めたり、さらに保健、環境その他の問題への認識を高めるのに役立つ。この基となったRIのライトハウス・プロジェクトは、オーストラリアの言語学者・ウォーカー博士(97〜98年度RI識字・計算能力向上グループ、ゼネラル・コーディネーター)の提唱するこの手法によって考えだされ、現在タイのすべての国立学校で採用されているほか、多くの発展途上国で取り入れられている。

米山記念奨学会感謝状授与



1年間、米山記念奨学生(周 瑋さん)のカウンセラーを務めて頂いた、岩崎征一さんへ“感謝状”が贈られました。

米山記念奨学生接拶(最終)

こんにちは、米山奨学生の周 瑋



です。今日は、私の最後の例会スピーチになります。この一年間は毎月例会へ参加させていただいてみなさんと付き合わせていただいていた、とても貴重な経験を得ることができました。ここでは、いくつか印象に深かったエピソードを話したいと思います。

まず、1つ目は、私が学業で忙しかった時に、ロータリーの例会に来ることは大きな楽しみでした。もちろんおいしいご飯を食べられることも嬉しいですが、みなさんとお会いできることが楽しみです。留学生は周りに家族がいなくて頼れる人がいないので寂しい時もあります。最近「元気でですか」と声をかけてくれる皆さんがいて、とても暖かく感じて、頑張れるエネルギーになります。

そして、去年私の誕生日の時に国にいるおじいちゃんがガンでなくなりました。ちょうど誕生日の当日はおじいちゃんが埋葬される日です。私は熱田神宮に参りに行きました。その帰りに渡辺さんのお寺が近くにあることを思い出して寄ってみました。このことを知った渡邊さんは、何も言わずに直ちに法事をしてくれて、さらに誕生日といって果物やお米もたくさんくれました。今度は嬉しい涙で、私にとつても感動的でした。

最後に、何とつてもカウンスラーの岩崎さんにお世話になりました。岩崎さんはお仕事が大変忙しくて、米山の旅行やパーティーにあまり参加できなかったのですが、その時に、必ず電話がかかってくる「ビビごめんない、行きたかったです」と話してくれました。私の卒業論文の時に、インタビュの相手を探してくれたり、夜10時の遅い時間でもすぐメールで対応してくれたりして、大きな助けになりました。いつも優しく、頼れる存在として、この一年間大変お世話になりました。

このように、1年間の米山奨学生として、私の留学生生活をより豊かに、より楽しいものにしたほか、皆さんと接している間に、「人と人のつながりを大事にする」ことを学ばせてくれました。これからは私は東京で新たな旅に立ちますが



人と人の繋がりを大事にして、仕事や生活の中に生かして行きたいです。この一年間は本当に、ありがとうございました。

名前/周 瑋 (しゅうい)
あだ名/ミニ ビビ
出身地/中国 広州市
Email/
bubble_vivi@hotmail.com
携帯電話/(事務局まで)

東京(あるいは中国)にいらつしやうした時にぜひ声をかけてください。

3月28日(木) 例会の案内
定款第6条第1節により休会
4月4日(木) 例会の案内
SPEAK OUT DAY

広報委員会

近藤宏一郎・林 富徳
杉浦 令淑・青木 靖高
*本文は、原則 頂いた原稿を転載しています。